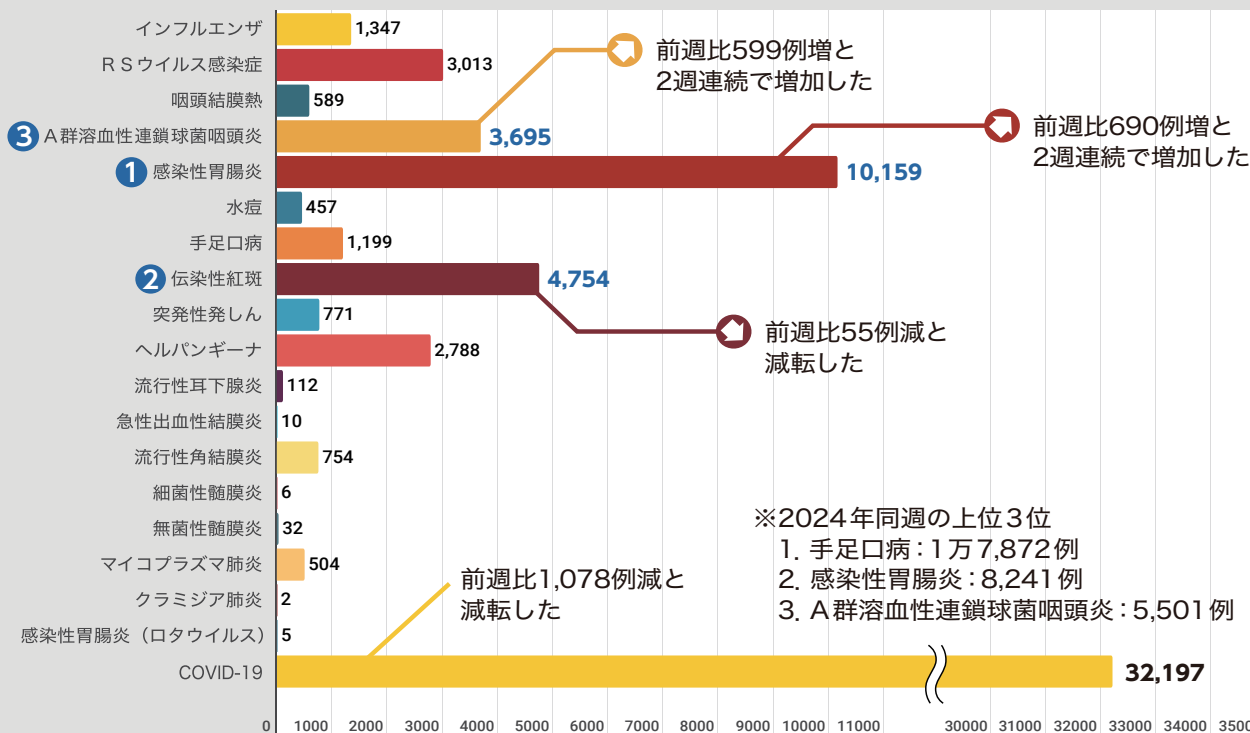




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

感染性胃腸炎1万例超え、A群溶連菌も増加

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,126例
2. 大阪府: 666例
3. 神奈川県: 596例

定点当たりの報告数(4.33)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 群馬県: 8.84 | 4. 島根県: 7.18 | 7. 石川県: 6.32 | 10. 宮城県: 5.94 |
| 2. 大分県: 8.06 | 5. 岐阜県: 7.04 | 8. 奈良県: 6.21 | 11. 山形県: 5.85 |
| 3. 宮崎県: 7.60 | 6. 福岡県: 6.80 | 9. 福井県: 6.16 | 12. 岩手県: 5.81 |

② 伝染性紅斑

報告数

1. 大阪府: 405例
2. 愛知県: 317例
3. 福岡県: 275例

定点当たりの報告数(2.03)

- | | | | |
|---------------------|----------------------|---------------------|----------------------|
| 1. 山形県: 6.38 | 4. 宮城県: 4.16 | 7. 福岡県: 3.93 | 10. 愛媛県: 3.19 |
| 2. 大分県: 5.53 | 5. 佐賀県: 4.00 | 8. 岐阜県: 3.56 | 11. 秋田県: 3.15 |
| 3. 長崎県: 4.74 | 6. 和歌山県: 3.96 | 9. 奈良県: 3.46 | 12. 愛知県: 3.14 |

※その他、18道府県が警報基準値(2.00)超え

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 404例
2. 埼玉県: 249例
3. 神奈川県: 239例

定点当たりの報告数(1.58)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 愛媛県: 4.43 | 4. 宮城県: 2.52 | 7. 山口県: 2.43 | 9. 宮崎県: 2.27 |
| 2. 栃木県: 2.85 | 5. 福岡県: 2.50 | 8. 富山県: 2.39 | 11. 埼玉県: 2.24 |
| 3. 長崎県: 2.74 | 6. 茨城県: 2.45 | 9. 新潟県: 2.27 | 12. 鳥取県: 2.21 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は前週比690例増と2週連続で増加し、1万例を超えた。伝染性紅斑は前週比55例減と微減し、定点当たりの報告数が警報レベル(2.00)を超えた地域は、前週の32道府県から30道府県(山形県、大分県、長崎県、宮城県、佐賀県、和歌山県、福岡県、岐阜県、奈良県、愛媛県、秋田県、愛知県、岩手県、島根県、鹿児島県、三重県、熊本県、富山県、石川県、福井県、新潟県、広島県、群馬県、福島県、長野県、宮崎県、大阪府、滋賀県、北海道、兵庫県)に縮小した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は前週比599例増と2週連続で増加した。COVID-19は1,078例減と減転したが、依然3万例台を維持している。定点当たりの報告数は、宮崎県(17.82)、鹿児島県(14.84)、長崎県(13.92)、山口県(13.56)、徳島県(12.74)、大分県(12.72)、熊本県(12.69)、新潟県(11.69)と続いた。その他9県で10を上回り、24県で7以上だった。